

今の住まいに合った
日本の光と闇を知る

Interior Magazine インテリアマガジン[コンフォルト]

平成9年12月5日第三種郵便物認可 2003年12月1日発行 (毎月1回1日発行)

2003 No.71 December

CONFORT

12

特集

PICTURESQUE “JAPANESE LIGHT”

生活スタイルから導かれる現代住宅のあかり

角館政英 環境計画×手塚建築研究所

光に満ちた闇の集落

東京・檜原村の天上通りに行く

住まいの光をコントロールする

住宅用調光器の現在

電灯あかりの原点

——燦燈社店主・佐藤弘朗さんに聞く、明治～昭和初期の灯具

保存版

LED照明徹底ガイド

住まいに宿る光と陰のデザイン考
日本のあかり

特別記事

光には情熱や心がある

——インゴ・マウラー 来日インタビュー

A-POCが示すものづくりの未来

「なんなの? A-POC」展レポート＋対談 藤原大×伊東豊雄



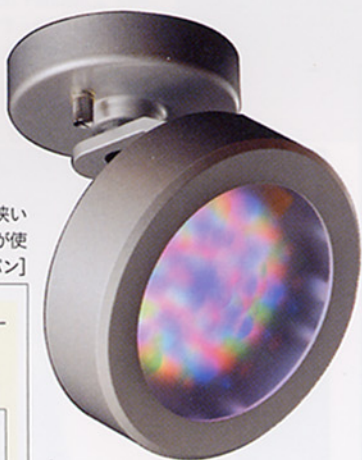
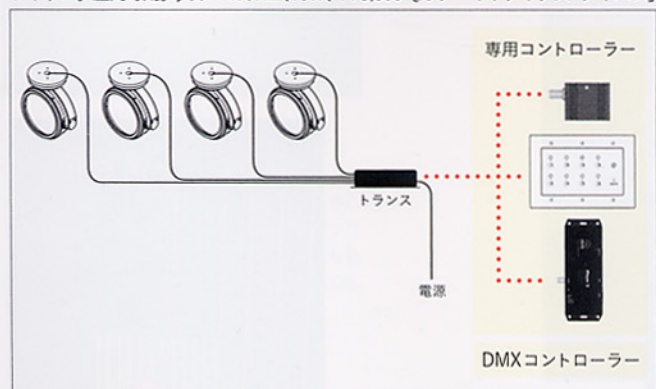
LEDの利点を追求する 室内用ダウンライト

省エネルギー、衝撃に強い、長寿命などLEDの利点を追求した「L-PL-M-4W-RGB」。フルカラーの演出が可能で、光の向きを変えることもできる。φ80×H40mm、4W、¥36,500 [スガツネ工業]



マイクロプロセッサ搭載で ネットワーク化が可能

ネットワークコントロールが可能な「Color Flare」。照射ビーム角度はより狭い22°で、20個までひとつの専用トランスに接続できる。薄型でシンプルなデザインが使いやすい。屋内専用。φ93×H167mm、10W、¥78,000 [カラーキネティクス・ジャパン]



スポットライト、ブラケット



多彩なカラーライティングを 可能にするスリムなライト

スポットライト形状のスリムなライト「Color Burst」。アーム付きで照射角度をあらゆる方向に調整可能。屋外での使用も可能な防雨型。「D-75」(右)、φ132×H167mm、10W、¥98,000。「D-200」(左)、φ192×H225mm、25W、¥143,000 [カラーキネティクス・ジャパン]



薬のカプセルに封じ込めて 持ち運べる光の粒

酒井俊彦 (プロダクトデザイナー)

デザインというと、スタイリング (造形) を思い浮かべる人も多いと思います。その意味ではこのLEDライト「small」のスタイリングは、使い古されたモチーフであり、新しさは何もありません。しかし、デザインをもっと大きくくりで捉えると話は違ってきます。本物の薬のカプセルにこの照明器具が入っているということは、究極の携帯性を意味しています。必要量を必要な場所で、いつでも摂取するために薬は錠剤という形態をとりました。これほど必要性が高いもので、携帯時の物理的ストレスがないものはほかにありません。10錠の薬を持ち歩いてもそれがかさばることなどないわけです。錠剤と同じようにあかりを数量化するとどうなるか? という問いが今回のコンセプトです。ベッドで本を読むのに30錠、鞆の中の小物を探すのに1錠。防水すればバスタブにも沈められるし、ナイトハイクの目印にもなります。数量化されたあかりの使い方は、僕の想像を超えて広がっていくことでしょう。

酒井さんがデザインしたLEDライト「small」。これまで数えることが不可能だった「光」を数量化。1個、2個と気分や用途に合わせて光の量が調整可能に。ボタン電池ひとつで約1週間、連続点灯する。φ8.5×D24.5mm。http://www.sakaidesign.com

